

天間遺跡発掘調査の概要

1 立地と環境

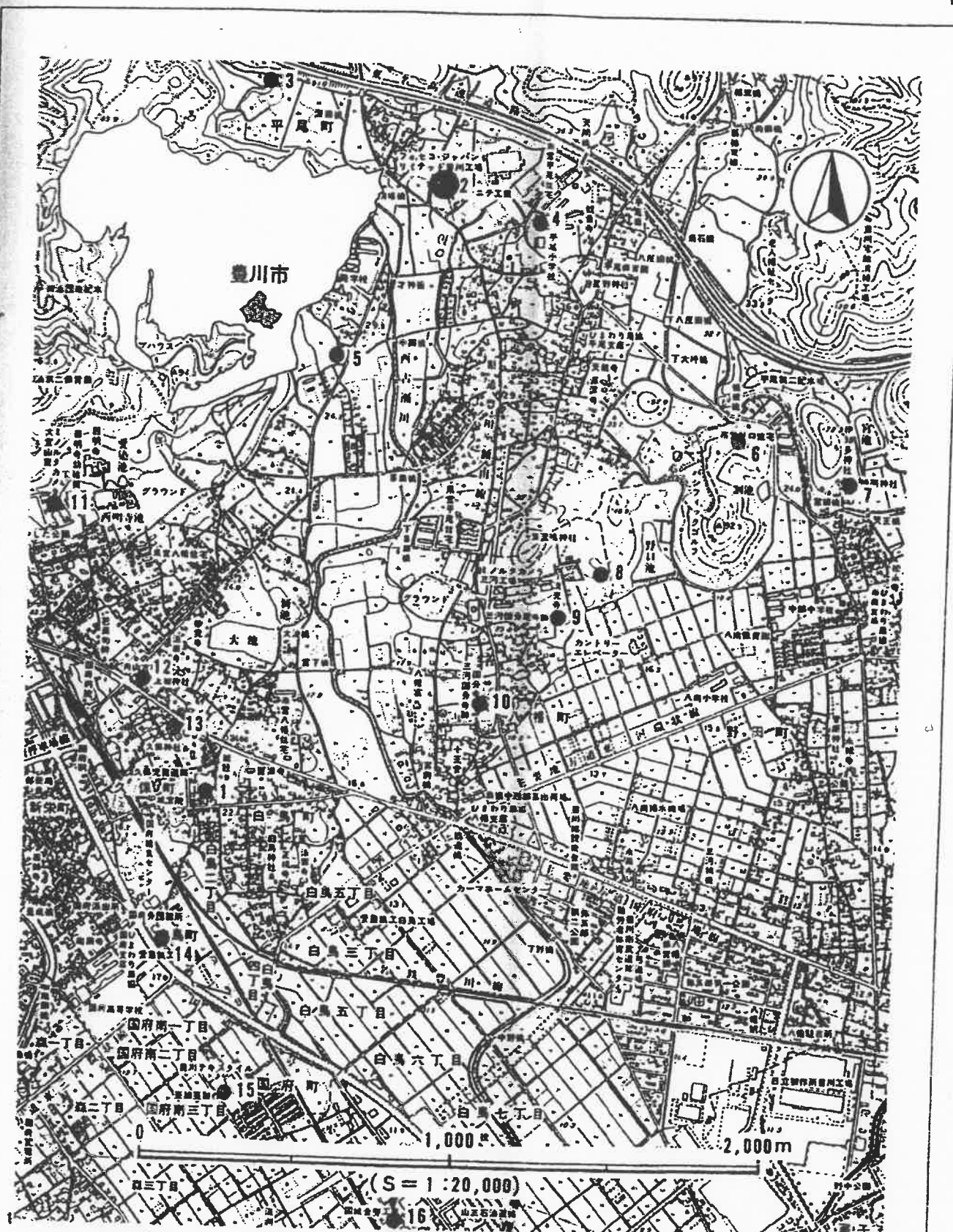
天間遺跡の所在する平尾町は、豊川市の北部面に連なる北部山地山麓の古期扇状地上に位置し、標高は25～35mです。この扇状地には水田地帯が広がり、現在でも農業経営の盛んな地域、また、自然環境豊かな地域として知られています。

この平尾町の北部の南に面した舌状台地上に天間遺跡は立地し、まわりの谷地形の面とは約5mの比高差があります。当時の環境を推定すれば、水の便は良く、南向きの日当たりの良い台地上であることから、生活を営むには最良の場所であったと言えます。

また、周辺に目をむければ、全長94mで三河地方最大の前方後円墳である船山古墳(上宿)や律令時代の政治・文化の中心地である三河国府跡(白鳥町)、国分寺・国分尼寺跡(八幡町)などがあり、この地域が古墳時代から律令時代にかけての中心地であったことがうかがわれます。

2 発掘調査の概要

この遺跡の存在する豊川市平尾町は、土地改良事業(県営ほ場整備事業)の行なわれていなかった地域でしたが、数年前から事業が着手し、天間遺跡にかかる部分は平成6年度の工事着工が計画されました。これをうけて豊川市教育委員会では、遺跡の一部が工事により影響を受けることから、平成5年度に遺跡の範囲を確認するための試掘調査を行い、平成6年度に記録保存を目的とした本調査を実施したものです。



- 1. 白鳥遺跡 2. 天間遺跡 3. 駒場遺跡 4. 天間古窯跡 5. 門田遺跡 6. 野口城跡 7. 伊知多神社遺跡 8. さんまい山古墓 9. 三河国分尼寺跡 10. 三河国分寺跡 11. 西明寺西古窯跡 12. 船山第1号墳 13. 久保古墳 14. 坊入遺跡 15. 船原遺跡

天間遺跡の周辺

今回の本調査は、昨年度の試掘調査の結果、ほぼ遺跡の範囲が限定されたため、その範囲内で工事により影響をうける道路部分を対象地として調査区を設定しました。このため非常に細長い調査区になっています。

調査は4月21日（木）から開始し、11月中旬までの予定で約4,000㎡の発掘を行ないました。これほど規模の大きな調査は過去の市内での発掘調査のなかでも最大規模と言えます。

調査を進めるにあたっては、面積も多く、期間も長いことから、便宜上10カ所の地区（A～J地区）に分けてA地区から順に進めました。

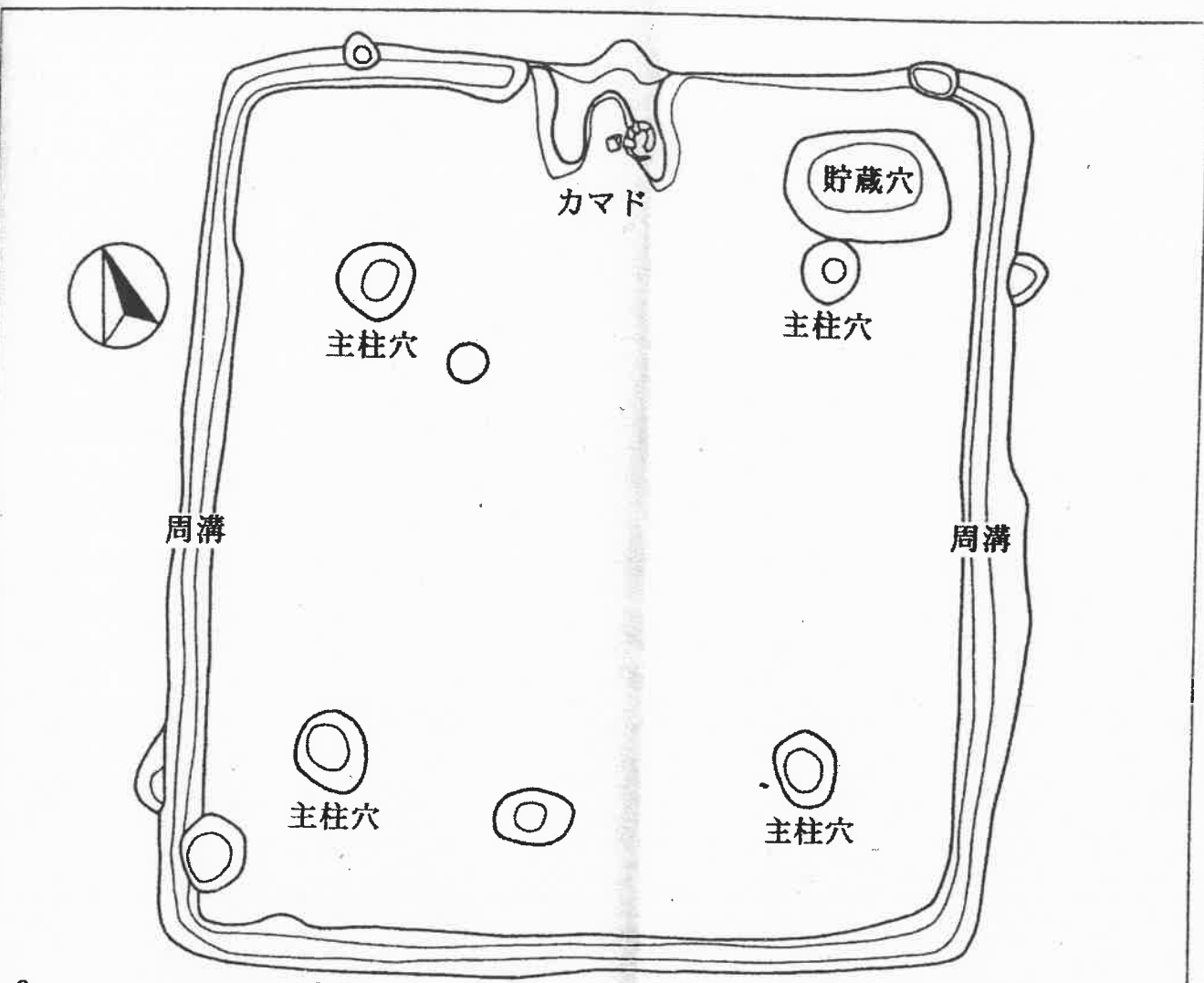
3 確認された遺構・遺物

天間遺跡は旧石器時代（約1万数千年前）から中世に至るまでの長いあいだ人々が生活をしてきた複合遺跡ですが、その中心となるのは古墳時代後期（6～7世紀）です。今回の発掘調査ではこの時期の遺構、遺物が数多く確認されています。

まず特徴的に挙げられるものは、古墳時代後期の竪穴住居跡で、合計で35軒が検出されました。右図はその竪穴住居跡の一例ですが、この時期になるとある程度の統一性が認められ、そのほとんどが正方形、四本柱、北にカマド（煮炊き用の施設）、東北隅に貯蔵穴が検出されています。今回確認された竪穴住居跡は35軒ですが、これはこの集落の全てではなく、遺跡全体の面積（約25,000㎡）を考えれば、まだ200軒前後の竪穴住居跡が地中に眠っているものと推定されます。ただし、この数字は一時期に建てていたものではなく、重複して検出されたものもあることから、何度も建て替えを行なったものと考えられますので、おそらく一時期の集落としては30軒前後の竪穴住居で構成されていたものと推定されます。

なお、発掘調査によってこれほど多くの古墳時代の竪穴住居跡が確認された例は東三河地方ではこの天間遺跡が初めてであり、これらの意味からも貴重な例といえます。

このほか、古墳時代以外の時期としては、旧石器時代の人々が使用していた石器が出土しています。これらの石器類が市内で行なわれた発掘調査によって確認された例は初めてであり、豊川市にも旧石器時代の人々が生活していたこの証明にもなります。



0 2 m
(S = 1/50)

堅穴住居跡 SHO 01 平面図

以下、確認された遺構、遺物をまとめると次のとおりです。

旧石器時代

尖頭器（槍の先）3点、細石核2点、ナイフ形石器1点、剥片多数

縄文時代

晩期（約 2,500年前）の土器棺墓4基

弥生時代

中期（約 2,000年前）の堅穴住居跡2軒

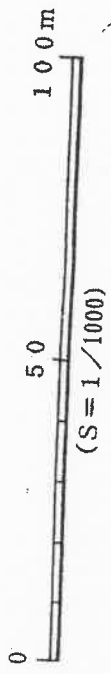
古墳時代

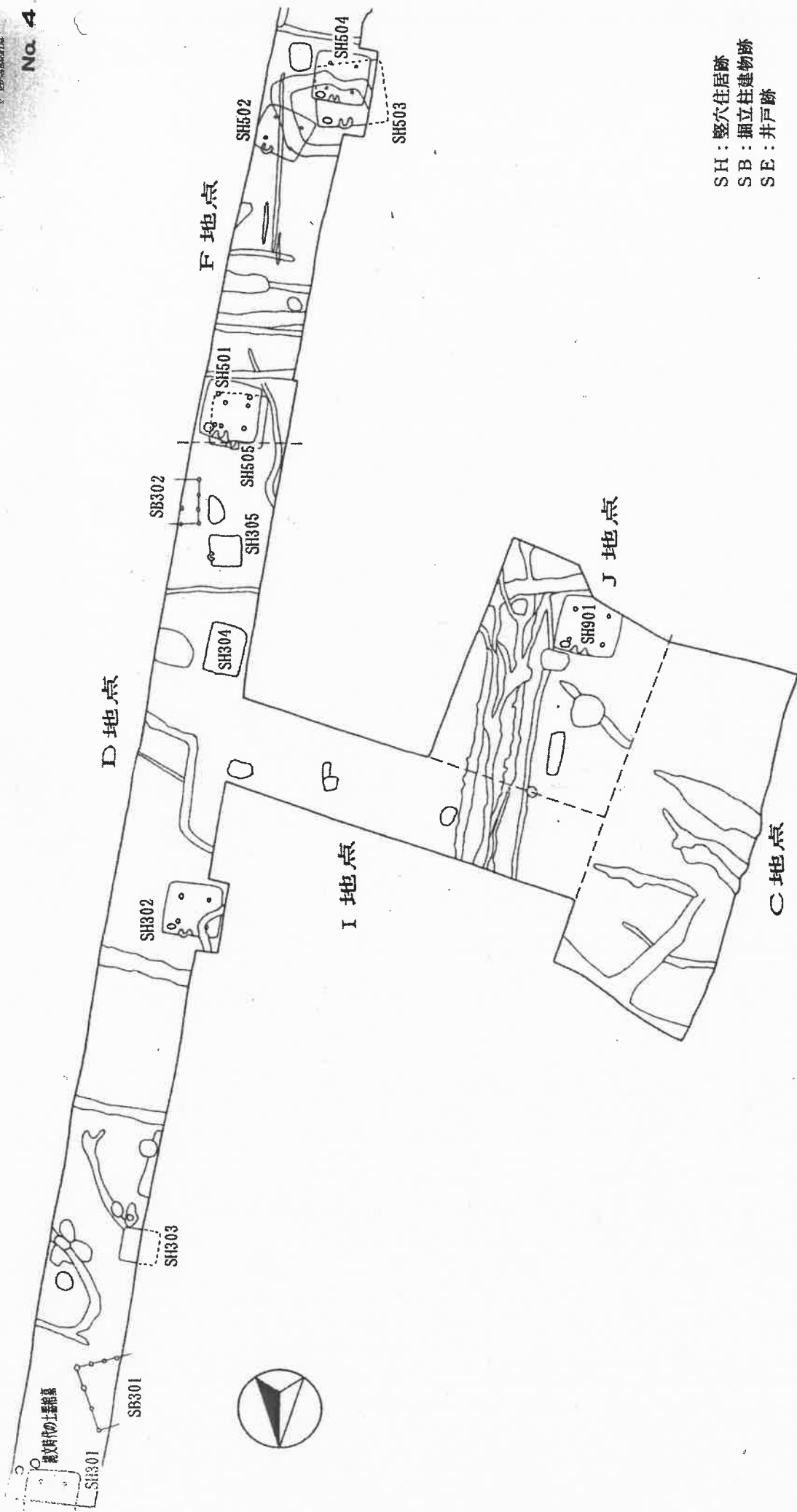
後期（6～7世紀）の堅穴住居跡35軒、掘立柱建物跡3棟、溝・土抗
（ただし、試掘調査で確認された堅穴住居跡6軒を含めれば41軒）

中世

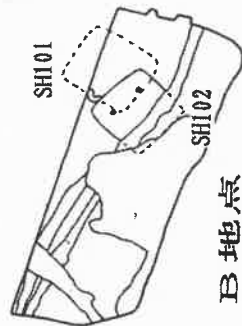
井戸跡2基、溝・土抗

天間遺跡調査区全体図

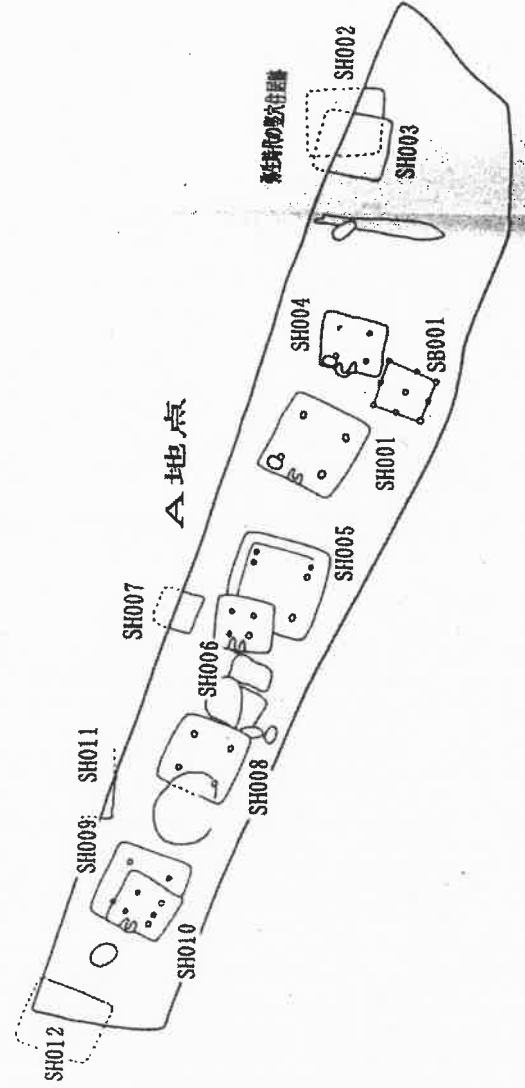
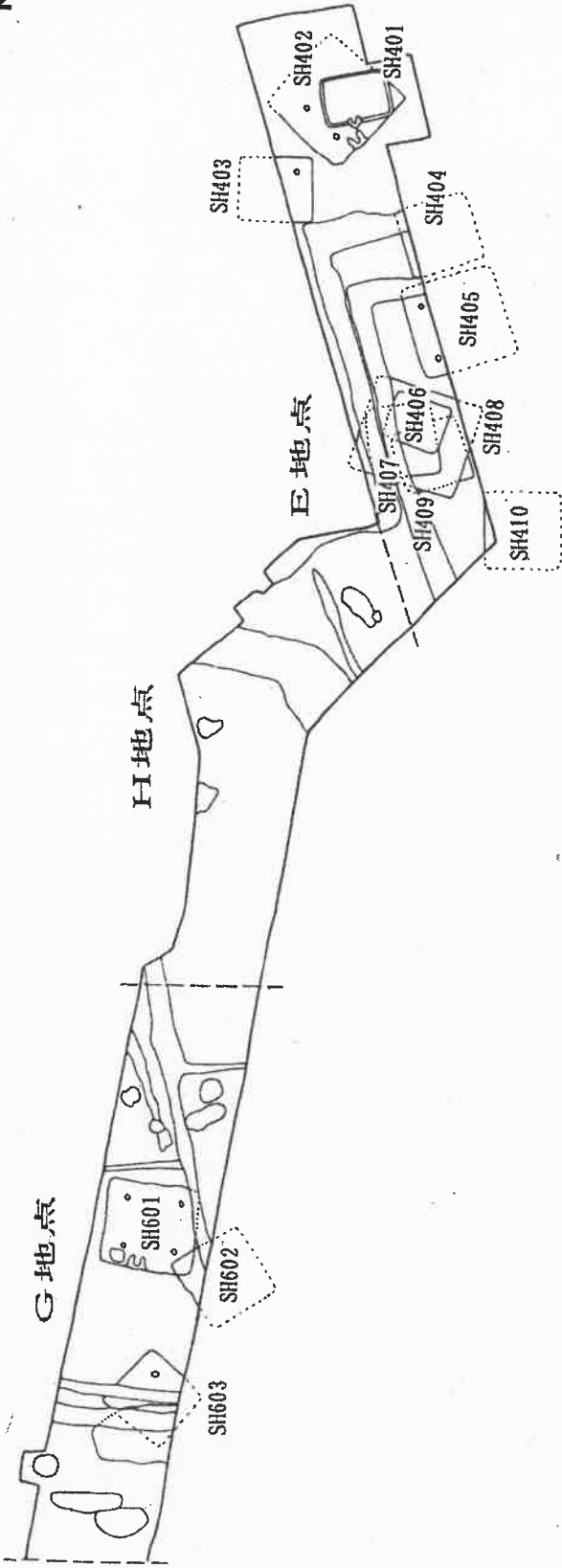




SH : 竪穴住居跡
 SB : 掘立柱建物跡
 SE : 井戸跡



天間遺跡遺構全体図 (北側) S=1/400



SH : 竪穴住居跡
 SB : 掘立柱建物跡
 SE : 井戸跡

